

大学・研究機関

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 深層インタラクション総合研究所 住岡英信 / 塩見昌裕

研究・技術シーズのタイトル

触れ合いを計測するための服型接触センサ

研究・技術シーズの概要

触れ合いは、我々（人同士や人とロボット）にとって、人間関係を維持（癒やし、ストレス軽減）する健康に良い効果をもたらす。通常の服等に貼り付けることができる「布型の接触センサ」により、接触（強く、弱く）や近接（数十センチ）の判定が可能な技術。



接触「動画：センサスーツ」
接触の強さを色の濃さで表現



近接「動画：離れてください」
50cm以内に接近すると警告

研究室または研究・技術シーズ掲載URL https://dil.atr.jp/crest2018_STI/

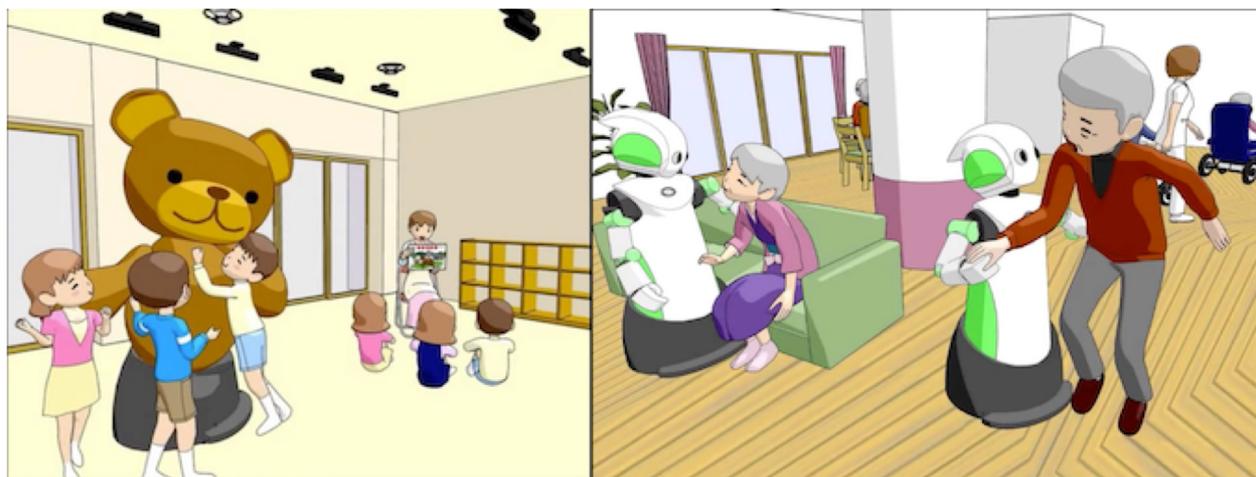
研究・技術シーズの特徴

- 静電容量型の布型センサにより、通常の服やぬいぐるみなど柔らかい素材に貼り付けることが可能
- 人でもロボットでも着用することが可能
- 着用者の動きにも反応するので、姿勢を推定するといった使い方も可能
- センサーをヒータとしても利用可能

活用が想定される分野・業界

介護、医療、教育等

- アンドロイドロボット用の触覚センサ
- 椅子やぬいぐるみなどの柔らかい素材用センサ
- 体の姿勢を推定するセンサ
- 介護場面での触れ合いを計測するセンサ



目標は、現実の環境（介護や教育現場等）でソーシャルタッチを介してロボットとの共生的な相互作用を実現すること。

活用が想定される分野・業界（続き）



介護現場等での癒やし系コミュニケーションロボットとして活用。

参考URL : https://dil.atr.jp/crest2018_STI/

特許について

公開特許出願に基づいた技術